

交通安全教育技能コンクールに出場しました

埼玉県警察本部の主催による「第19回交通安全教育技能コンクール」第三方面大会が1月31日に行田市内で開催されました。10地区の代表が技能を競い、小川警察署管内からは、小川町交通安全母の会の3人が参加し、高齢者向け交通安全教育の寸劇を披露しました。



新入学児童・園児を交通事故から守りましょう!

入学入園の春、慣れない道を通い始める子供たちの交通事故が増加する季節です。ドライバー、保護者、地域の方の適切な指導とやさしい運転で子供たちを交通事故から守りましょう。

町社協が災害ボランティアセンター立上げ訓練を実施

町内で災害が発生し、大規模な復旧活動が求められる場合、小川町社会福祉協議会（以下、町社協）が中心となり、ボランティア活動拠点となる「災害ボランティアセンター」を設置します。



2月、同センターの立上げ訓練をパトリアおがわで実施しました。町社協職員が「被災者が求める支援」と「ボランティアが提供できる支援」を結び付ける手順を確認し、課題の発見と改善を検討するための訓練です。今回は、小川町赤十字奉仕団と町社協が委嘱する地域福祉委員に被災者役、ボランティア役、案内役で協力いただきました。

災害復旧にはボランティアの皆さんの活動が欠かせません。また、町内全域が被災した場合、国や県はもとより、隣接や県内外の市町村との連携が重要です。今後も、町社協は関係機関と連携し、緊急事態に対応できるよう訓練を継続して実施していきます。

福祉避難所の設置運営に関する協定を締結しました

2月21日、小川町と社会福祉法人宏仁会特別養護老人ホームさくらぎ苑ならびに、日本赤十字社埼玉県支部小川ひなた荘は「災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を締結しました。

この協定は、町内で災害が発生し、避難生活を送る「指定避難所」での生活において特別な配慮を必要とする方（要配慮者）、主に在宅介護の高齢者を対象に受入れ、安心して避難生活を送っていただくことを目的としています。



左から、さくらぎ苑、町長、小川ひなた荘

福祉避難所の対象者

- 指定避難所での「生活が困難である」と町の災害対策本部が判断した方（要配慮者）
 - 高齢者・障がい者・乳幼児・妊産婦・傷病者・難病患者等
 - 上記対象者の家族や介助者
 - ※町の災害対策本部が施設へ開設を要請し、受入体制が整った後に受入れることになります。
 - ※要配慮者であっても、災害時に直接避難できる施設ではありません。
- 福祉避難所への避難の流れは次のとおりです。
被災した → 指定避難所へ避難 → 指定避難所での生活は困難と判断される → 福祉避難所を開設・受入

小川町内の福祉避難所 ※3月末現在。今後も協定締結により、福祉避難所数を増やしていきます。

施設名	所在地	備考
総合福祉センター（パトリアおがわ）	腰越618	施設内の一部を使用
子育て総合センター（ココット）	角山133	
特別養護老人ホームさくらぎ苑	飯田117	町と協定を締結
特別養護老人ホーム小川ひなた荘	小川1548-1	町と協定を締結

問合せ

防災地域支援課
防災安全担当
☎ 351

比企郡体育協会主催 第35回比企郡駅伝競走大会

3月3日、小川町役場前を発着として、ときがわ町、嵐山町を周回するコースで「第35回比企郡駅伝競走大会」が開催され、8町村から計20チームが参加しました。

小川町Aチームは準優勝を収め、川島町Aチームが優勝しました。小川町代表の成績は次のとおりでした。

小川町代表チームの成績

- 2位 小川町A：1時間35分40秒
区間賞 太田 裕之さん
3区（5.20km）15分29秒
- 4位 小川町B：1時間41分02秒
- 14位 小川町C：1時間59分43秒



小川町停車場通り商店会女性部 埼玉県知事表彰受賞!

2月11日、「第16回道路愛護の集い」がさいたま市のラフレさいたままで開催されました。彩の国ロードサポート団体として、町の玄関口である停車場通りの清掃や、色鮮やかな花を飾るなど、日頃から道路美化活動に貢献している小川町停車場通り商店会女性部が、「第12回道路愛護の集い」で受賞した道路協会会長表彰に続き、この度、埼玉県道路愛護功労者表彰（埼玉県知事表彰）を受賞し、代表として忍田千鶴子部長が上田知事から表彰状を授与されました。



小川町が交通死亡事故ゼロ市町村表彰受賞!

2月8日、知事公館で「交通安全功労者等表彰式」が行われ、交通安全対策を積極的に実施、年間の交通事故死者数ゼロを達成したことから、小川町が「交通死亡事故ゼロ市町村表彰」を受賞しました。この賞は、人口3万人以上の町にあって、交通事故死者数が2年以上ゼロであった町に贈られるものです。

これからも安全・安心な町をめざして、交通事故を防止しましょう。



「いきいき百歳体操」を実施しています!

竹沢公民館を会場に、毎週木曜日午後1時30分から3時まで、老人会の百歳体操サポーターを中心に「いきいき百歳体操」を行っています。内容は百歳体操（手首や足首におもりをつけてゆっくり上げ下げする運動）の他、タオルを使った肩の柔軟体操、ストレッチ、腕・手の指を左右別に動かす脳トレ、最後の整理体操としてぴっかり千両体操をしています。

現在は、靱負・木部・深田・勝呂等の方が30人程参加しています。平成29年1月初めからスタートして2年が経過し、「杖を使わないで歩けるようになった」「立ったままズボン・靴下がはけるようになった」等、嬉しい効果が出ています。



他地区の方も受け入れていきますので、どしどしご参加ください。お待ちしております。

木部長寿会 吉田晃さん 寄稿

問合せ 長生き支援課 ☎ 74-2323、小川町社会福祉協議会 ☎ 74-3461